

札幌医科大学保健医療学部理学療法学科理学療法第二講座では、札幌医科大学学長の承認を得て、下記の研究を実施致します。

「成長期腰椎分離症および腰痛症の腰椎椎間関節の形態解析,および脊柱アライメントとの関係」

についてのご説明

【研究責任者・分担者】

研究責任者	理学療法学科 理学療法第二講座・教授	片寄正樹
研究分担者	国立スポーツ科学センター	菅原一博
	大学院保健医療学研究科	大学院生 池田祐真
		大学院生 野村勇輝

【研究の意義・目的】

腰椎分離症は成長期に好発する腰椎疾患ですが、その予防法は確立されておらず、発症に関与する要因の整理が必要となっています。本研究では発症に関連する要因の一つである腰椎椎間関節の形状に着目し、腰椎分離症と腰痛症の形状を比較し、脊柱アライメントとの関係について検討することを目的とします。本研究を行うことで、腰椎分離症における腰椎椎間関節面の形状の発症への関与および発症後の適応的变化について明らかにできます。

【研究実施施設】

札幌医科大学大学院 / 北海道社会事業協会帯広病院

【研究対象】

2014年4月から2017年3月までの期間に北海道社会事業協会帯広病院において腰部検査のため腰椎部単純X線およびCT撮影を受けられた18歳以下の方を対象にします。

【研究内容】

診断の際に撮影したCT画像を使用して腰椎椎間関節の形状を解析します。また、腰椎部単純X線画像を使用して脊柱アライメントを解析します。なお、本研究を行うことで患者さんに通常の診療を超える医療行為はなく余分な負担は生じません。

【個人情報の管理】

本研究では、個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策を取っております。また、本研究の実施過程およびその結果の公表の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

また、データの保存やデータ処理をおこなうPCは情報漏洩を防止するため、研究実施者と分担者のみが取り扱い、部外者には一切公開しません。なお、PCは外部のネットワークには接続しないよう取り扱います。研究データが保存されているハードディスクは施錠できる保管場所に収納し、研究実施者および分担者のみが鍵の管理を行い、部外者には取り扱いができません。

いようにします。

【研究結果の公表】

得られた研究結果については学位論文として札幌医科大学大学院保健医療学研究科に提出致します。また、英文にて論文化し、査読付きの海外学術雑誌へ投稿します。研究結果の報告および論文化に関しては、研究に携わった研究者の氏名のみが公表され、研究協力者が特定できるような個人情報には公開しません。実験で得られたすべての情報は、研究の終了について報告した日から5年を経過した日までの期間、匿名化された情報の対応表も含めて保管します。当該保管期間の後、保管されたデータは復元できないよう処理された上で破棄します。

【本研究に関する費用負担について】

2014年4月から2017年3月までの期間において北海道社会事業協会帯広病院において腰部検査のため腰椎部単純X線およびCT撮影を受けられた方から、診療データの提供を頂くため、通常の診療以上に費用がかかることはありません。

【本研究にかかる研究資金、及び利益相反について】

本研究は、他組織からの資金の供給はないことから、利益相反はありません。

【本研究に際し診療データの提供をご希望されない場合について】

2014年4月から2017年3月までの期間において北海道社会事業協会帯広病院において腰部検査のため腰椎部単純X線およびCT撮影を受けられた方の中で、本研究への診療データの提供をご希望されない場合については、下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
国立スポーツ科学センター 研究分担者 菅原一博
Tel (03) 5963-0213 内線2123
休日・時間外 E-mail kazuhiko.sugawara@jpnsport.go.jp

〒080-0805 帯広市東5条南9丁目2番地
北海道社会事業協会帯広病院 リハビリテーション科 研究協力者 野崎修平
Tel (0155) 22-6600
休日・時間外 E-mail kazuhiko.sugawara@jpnsport.go.jp